

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Deakin 大学 General English
-----	---------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	9万 円	昼食、お菓子、カフェ、夕食など
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1万 円	
現地通学費	3万 円	(研修先まで30分)定期券
教養娯楽費	0 円	
被服費	3万 円	
雑費	0 円	
その他	6万 円	例:お土産、ツアー費
合計	22 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で空港で換金した。
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カード決済ができないところはほとんどないのでカード決済がいいと思った。現金は割り勘する場合はあるとよいと感じた。基本はセルフレジでも現金を使えるレジが限られているところもあったのでカードを主に使った。
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
海外携帯 ICHIBA で現地電話番号付きの eSIM を購入した。データ無制限のプランにしたので Wi-Fi がなくて困ることもなかった。ホストファミリー宅と学校には Wi-Fi があった。ついてすぐ連絡が取れないと怖いと思ったので事前に契約した。
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
パンがあまり好きではなく、飽きてしまうと思ったのでバックご飯とふりかけをもっていった。10 バック持って行ったので昼食用におにぎりを作って持って行った。メルボルンには水を無料で補給できる場所が多いので水筒は持っていくべきだと感じた。自販機などで買うと4ドルほどなので水にこだわりがない人は持っていくべきだと思った。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等: AI)
特記事項: 風邪をひいたときの持ってきた薬の相談など
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーに聞いた。一人の時は暗くなる前に帰るようにしていた。危険を感じたことは特になかった。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使えた。事前に接続方法を確認し、スキャンしておくことについての接続がスムーズになると思う。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 <input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	2) 部屋の形態 <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

夜ごはんを食べるときにホストマザーが話をしに来てくれたので毎日その日の出来事を話したり、週末の予定の話をしたり英語を使う機会を作ってくれた。私のホームステイ先は日本人が一人、中国人が二人で四人だった。まわりの日本人の友達に聞いても日本人のホームメイトがいるところが多かった。英語を話す機会が減ったという人もいれば日本人がいることで安心だったという人もいたので人それぞれだと感じた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

春休みだったので思っていたよりも日本人が多く、ほとんどが日本人のクラスで授業を受けた。授業中も日本語を使ってしまう人も多かった。ポッドキャストを録音するプロジェクトではみんな積極的に取り組んでいて発音や文法などもとてもためになったと思う。私のクラスは日本人12人と海外からの留学生2人だった。私は海外からの留学生と同じグループになることが多かったので英語を使う機会は作れたほうだと思う。

2)課外プログラムについて

遠足が週に1回ほどあった。図書館や美術館のような施設に行った。また、Deakin 大学が企画するツアーなどのイベントもあり、充実していると思った。

3)現地での生活に関すること

バスとトラムと電車があるので基本的にはどこでも行きやすい。治安はとても良い。道やバスを現地の人に聞いたこともあるがみんな優しく教えてくれた。一人でカフェなどに行くと現地の人が話しかけてくれたりすることもあった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ディーキン大学の学生とコミュニケーションをとる機会はあまりなかったが同じコースやクラスの学生とは大学にいる時間が長いので交流の機会は多かった。お昼の1時間の休憩には毎日イベントが開催されているのでそれに参加するとさらに交流の機会を増やせると思った。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ワーホリでできていたホームメイトの友達とピクニックをしたり、他国からきているホームメイトと英語でコミュニケーションをとったりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスやトラムが時間通りに来なくて慣れるまでは不安だった。また、2分前に発車してしまうこともあったので時間に余裕を持つべきだと感じた。電車は割と時間通り来ていた。不安だったらバスを待っている人や運転手さんに聞いて確認するといいいと思った。基本みんな助けてくれる。

公園などに行くときリードをつけずに犬の散歩をする人が多くみられた。

楽しそうに仕事をする人が多いと思った。カフェやレストランの接客がとても良いと感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の留学は思っていた以上に大変でしたがとても有意義な5週間になったと思います。勉強が苦手であり勉強する意欲はなかったのですが、今は英語をもっと勉強してみたいと思っています。私はこの留学で積極的に行動できるようになったと思います。クラスはほとんど日本人でしたがみんな英語の授業に積極的なので私も自然と発言したり、意見を伝えたりすることに慣れました。もともとインドア派で休日は室内でダラダラすることが多い私ですが留学中はとにかくいろいろな観光地を回ってみたり、暇な日はカフェにいて知らない人と話したりするようになりました。また、コミュニケーション能力も向上したと思います。明治からディーキン大学に留学する人は他大学に比べてかなり少なかったため初めは知らない人しかいない環境でしたが日本人にも他国からの留学生にも積極的に話しかけられるようになりました。仲の良い友達がたくさんできて、そのおかげで今回の留学がさらに楽しいものになったと思います。留学先でできた友達とはこれからも連絡を取り合っていこうと思っています。

そして、英語力に関しては言いたいことが簡単な単語と文法を使ってでも伝えられるところまでは成長したと思います。リスニングは得意な方だったのである程度は聞き取れていましたがスピーキングは本当にできなくて、初めはホストマザーとの会話でも短文でしか答えられないような英語力でした。ここで学んだことを活かして今後も勉強を続けたいと思います。

日本とは違うところなど行って初めて気づくこと、学ぶことがたくさんあるので迷っていたら挑戦してみるとよいと思います。ハプニングもあり帰りたくなることもあったけど今回の留学で学んだことは何とかなるってことです。それを乗り越えられるくらい毎日が充実していたのしかたし、ハプニングも帰ってきた今ではいい思い出だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ディーキン大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	8万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1万2千 円	
現地通学費	2万 円	(研修先まで 30分)
教養娯楽費	2万2千 円	ツアー代
被服費	9千 円	
雑費	0 円	
その他	5万 円	例:お土産
合計	19万3千 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で事前に両替して、100ドル持って行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
メルボルンはクレジットカードが主流なため、基本的にはクレジットカードしか使わなかった。
3) 現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIMはトリファを日本で契約して使用した。しかし、このSIMは電話番号がついていないため、念のためAhamoも契約し、音声回線だけAhamoに設定していたが特に使うことはなかった。現地の電話番号がついたSIMを用意できるならした方が、便利ではあると思う。WiFiはホストファミリーの家のものと、大学のものを使用した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパ、上着、エコバック、洗濯ネット、水筒、ウェットティッシュ、常備薬、ドライヤー、変換プラグ、延長コードなどは役に立った。服は1週間分持って行ったが、洗濯が一週間に一回のため洗濯の日に着る服がなく、もう一日分買うことになってしまったため、服は最低8日分持って行った方が良い。日本米が好きな人はバックのご飯を持っていくと便利かもしれない。ホストファミリーの家で出てくるご飯はタイ米だった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
領事館からのメールを確認していた。デモが行われることが多かった。そのエリアには近づかないように気を付けた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
SIMもWiFiもすべて問題なく使用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーはとてもいい方たちで 5 週間楽しく過ごすことができた。ルームメイトもいなかったのを気を使うようなこともなかった。毎日ホストファミリー、マザーが話しかけてくれたので英語を話す環境でとてもよかった。つたない英語でも聞き取ろうとしてくれて、英語を話す度胸がついた。大学の語学学校は日本人が多かったため、ホームステイは英語を話すいい機会だと思う。ただ、部屋にしっかりしたエアコンがなく、夕方に西日があたると部屋が 30 度を超えてしまっても暑かった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

先生が面白くて授業は楽しかった。授業は英語で行われるが、先生はゆっくり話してくれるため、わからないということはあまりなかった。5 週間の中で 2 回フィールドトリップがあり、シティに行けるため観光もできて良かった。Podcast の収録はとても面白かった。グループを組んで原稿を書き、スタジオで収録を行ったが、グループ内に中国出身の人がいて、一緒に一つの課題に取り組んだのは良い経験となった。しかし、日本の春休み期間ということもありクラスはほとんど日本人だったため、休み時間などは日本語を使うことがとても多かった。

2)課外プログラムについて

希望すればいろいろなツアーに参加できたが、私は特に参加はしなかった。値段が高いものもあるためよく読んで申し込むのがいいと思う。大学の施設内は自由に使うことができ、ジムも無料だった。2 月の最終週あたりから 3 月の初めまで、大学の新歓期間だったため、昼休みに無料のアイスクリームや、タピオカ、トーストなどを配っていて、無料でもらうことができた。

3)現地での生活に関すること

バス、トラム、電車が発達していてどこにでも行くことができた。ホストファミリーの家からシティまでは電車で30分ほどだったため、便利だった。しかし、日本のように時間通りには来ない。突然運休になることもあるので出かけるときは毎回グーグルマップやPTVアプリを確認した方がいい。最寄り駅の電車が運休になってしまったときは、シティまで代わりのバスが出ていた。大学終わりにシティに遊びに行くこともできるが、カフェなどは 15 時にほとんど閉まってしまうため基本的には土日に出かけていた。治安は日本とほとんど変わらないくらい良く、危ないと思ったことはなかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

特になかった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本と違い、電車は基本的に時間通りには来ない。運休になることもある。電車のドアはボタンを押さないと開かない。トラムやバスはグーグルマップで自分の位置と降りる停留所を見ておかないと通り過ぎそうになる。歩行者信号はボタンを押すと青になるが、とても短い。レストラン以外のお店の閉店時間が早い。犬が日本以上に多い。空港の中も電車の中もケージなしに犬が入ることができる。大型犬が多く、リードがついていないことも多い。しかし、吠えたりしている犬はほとんど見なかった。やはり物価は日本よりかなり高い。水が一本 3~4 ドルする。レストランでの食事は最低でも 20 ドルはかかる。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は英語力に自信がないまま留学に行ったが、とても充実した 5 週間となった。5 週間も異国の地で、違う家族と住むのは初めての経験だったため、不安ではあったが、ホストファミリー、友達に恵まれてとても楽しかった。英語は苦手意識があったが、実際に英語を使って会話をしてみても、伝わったときの嬉しさや、会話の楽しさを知ることができた。日本にいらながらも AI と英語で会話してみたり、Podcast を聞いたり、英語でアニメや映画を見たりと、英語に触れる機会をつくることはできると思うので、今後も英語学習を続けたい。ホストファミリーはまたメルボルンに来たらぜひうちに泊まってねと言ってくれているので、これをモチベーションにもっと英語を勉強して、次に会う時にはもっと英語を話せるようになっていようと思う。オーストラリアの人たちはトラムや電車に乗っているだけで話しかけてくれたり、困っていたら助けてくれたりしたので、私も日本に来ている外国人観光客の人たちが困っていたりしたら、自分から話しかけて助けてあげようと思った。大学生の春休み、夏休みはとても長く、留学は学生のうちに行くのが一番いいと思うので、ぜひ行くのをお勧めしたい。旅行では感じるできない異なる文化、価値観に触れることができる。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	Deakin University
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1万 円	
現地通学費	2万 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	3万 円	
雑費	0 円	
その他	3万 円	例: ツアー代
合計	12万 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 日本でオーストラリアドルに両替してから持って行きました。
 その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

オーストラリアではクレジットカードでの支払いがとても便利でした。ほとんどのお店でカードが使えるため、現金を使う機会はあまりありませんでした。

- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

事前に日本でE-SIM を買いました。インターネット接続は安定しており、Google Maps や連絡にとっても役立ちました。

- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

モバイルバッテリーと変換プラグを持って行って良かったです。

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

貴重品は常にバッグの中に入れて管理しました。

- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

SIM カードを利用したため、インターネットは問題なく使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーはとても親切で、英語での会話の練習にもなりました。オーストラリアの文化や生活について多くのことを学ぶことができました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業では英語を使ってコミュニケーションを取る機会が多く、実践的に英語を学ぶことができました。また、先生もフレンドリーで質問しやすい雰囲気だったため、安心して授業を受けることができました。

2)課外プログラムについて

課外プログラムではメルボルンの観光地を訪れる機会があり、現地の文化や歴史について学ぶことができました。また、クラスメイトと一緒に参加することで交流を深めることもでき、とても良い経験になりました。

3)現地での生活に関すること

メルボルンはとても住みやすい都市で、公共交通機関も便利でした。スーパーやレストランも多く、生活に困ることはありませんでした。また、多くの人がフレンドリーで、安心して生活することができました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業やアクティビティを通して、現地の学生や他の国から来た学生と交流することができました。英語で会話をする中で、コミュニケーション能力を高めることができました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業の後や週末にクラスメイトと一緒に市内を観光したり、カフェやレストランに行ったりしました。そこで多くの会話をすることができ、英語を使う良い練習になりました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

オーストラリアでは多くの人がフレンドリーで、初めて会う人でも気軽に話しかけてくれることが印象的でした。また、カフェ文化がとても盛んで、多くの人がコーヒーを楽しんでいました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

メルボルンでの留学はとても貴重な経験でした。最初は英語での会話に自信がありませんでしたが、現地の人や他の学生と交流することで少しずつ慣れていきました。また、オーストラリアの文化や生活スタイルを直接体験することができ、日本との違いを多く感じました。特に人々がとてもフレンドリーで、初めて会う人でも優しく接してくれたことが印象的でした。この経験を通して、もっと英語を勉強したいという気持ちが強くなりました。今後の学生生活でも英語学習を続け、将来に活かしていきたいと思います。